

第108話 石沢家の萬覚帳

中山町歴史散策

長崎の石沢太惣治家には、多くの「萬覚帳」や「諸色附込帳」があつて、朝夕の記帳の折々に、商人や来客が語る様々な話の内容が書き込まれています。

これらは、文化文政期から明治、昭和期に至るまで夥しい数であります。メモ書きや冊子となった帳面には民間医療の技術、信仰祈禱、占い、まじないなどを含めて貴重な資料となっています。

また、石沢家に残る病氣治療法の書留記録をみると日常頻発する病氣のほとんどを網羅しており、治療費に不如意な住民の相談役となつていたと考えられます。

記録によると医療水準も低劣なものでなく、特に軟膏、塗り薬では卓越した調合も見られますが、大方は薬用植物及び若干の動物、鉱物薬品を用いた長い間言い伝えられ伝承実証された薬種を組み合わせて実用化されたものです。

このほか、特に注目すべきことは、病氣の名称（分類）、負傷の程度の分類が随分と進んでいったことには驚かされます。

例えば、皮膚病については、皮膚の化膿や微生物の感染で発症する「ひぜん」「疥癬」「つづがむし病」「たむし」「水草」「雪焼け」などが記録されています。更に、「口内炎」「火傷」「外傷性の「目突き」「草の葉や穂で目を突いた傷」「金釘の刺し傷」「打身」「咬傷（かみ傷）」などの記録は日常生活で遭遇するほとんどの疾病を実に詳しく分類しています。

また、内科の領域では、最も多いのが「中風」「産前産後の栄養」「子どもの疳（栄養障害）」「魚による食中毒」などの記録です。

【用語の解説】
萬覚帳…江戸時代の商家で作成された帳簿
諸色附込帳…米を除いた日常品の価格を記載した帳簿
不如意…経済状態が苦しいこと

※参考 中山町史 中巻
第9章第4節 疫病の流行

第8回元祖芋煮会in中山イベント 『第3回芋煮会川柳コンテスト』

入選作品発表

10月に開催した「第8回元祖芋煮会in中山」の一環として、開催している「芋煮会川柳コンテスト」に北海道から熊本県まで222句の応募がありました。

元祖芋煮会in中山実行委員会での審査の結果、次の5句が入選、2句が準入選となりました。

ご応募ありがとうございました。

入選

芋煮えて 湯気の向こうは 山紅葉 カジ

声かけて 愛情かける 隠し味 りおのばーば

大鍋を 囲む笑顔の 芋煮会 実も心もぼかぼか

秋の宴 芋の取り持つ 人の縁 孤高

子も我も 取り合い笑う 芋煮会 なやな

準入選

秋がきて 芋煮の香りが 街包む 芋煮好き男

青い空 芋煮で笑顔の 花開く 渡辺 司

『広報なかやま』2年連続の入賞！ 県広報コンクールで第3席を獲得しました

山形県広報協会主催の「平成27年度山形県市町村広報コンクール」において、『広報なかやま』平成27年6月号の表紙が1枚写真の部で第3席に選ばれ、入賞を果たしました。平成26年度は、同コンクールで広報紙町村の部・1枚写真の部でそれぞれ入賞しており、2年連続の入賞となりました。

充実した広報づくりには、町民の皆さまのご理解・ご協力が不可欠です。今後も読みやすい紙面づくりに努めますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



Time Slip vol.28

今から71年前… 1945年(昭和20年)

『豊田小学校岩谷分校』の設置

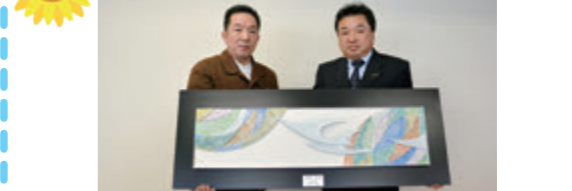
昭和20年12月、冬の間通学が困難になる岩谷地区の児童のため、「豊田小学校岩谷分校」が設置されました。岩谷地区は、子どもたちの通う豊田小学校から4キロメートルほど離れており、山あいに位置するため平地よりも雪が多く、真冬には積雪量が3メートルを超えることもあったそうです。

豊田小学校岩谷分校は毎年12月に開校され、地区の子どもたちは3月末までの4か月間、本校の友人たちに別れを告げて「冬ごもり」に入りました。また、先生1名も児童とともに分校に移り、岩谷地区の児童のために教壇に立っていました。



こうして、やがて分校に通う児童はいなくなり、岩谷地区の子どもの学びの場であった岩谷分校は、昭和50年4月をもって廃校となりました。

寄附ありがとうございます



1月13日、青木邦明さん（山形市船町）より、中山町の文化、教育に役立ててほしいと、中山中学校デザインパネル原画作品（四季彩彩）を寄附していただきました。



山形県弁護士会所属 弁護士 古城博道

古城博道法律事務所

借金・離婚・遺言書作成・相続・建築瑕疵・会社経営（顧問・社外役員）など、法律問題の相談をお受けしています。

相談料：30分 5,000円

※収入等の条件により無料相談ができます（個人の方）。

山形市旅籠町三丁目5番30号 酒井ビル2階 ☎664-3587 ホームページ：http://kogi-law.jp